

港区史編さんだより

～ 区民の皆さんと歩み、歴史を語り継ぐ～

発行：港区総務部総務課区史編さん担当

〒105-8511 港区芝公園 1-5-25/TEL 03-3578-2049/http://www.city.minato.tokyo.jp/



今号の表紙

昭和41年（1966）頃の旧赤坂支所・赤坂公会堂です。まだ赤坂区であった昭和3年（1928）に建てられたもので、戦災にも耐え、平成4年（1992）まで存在しました。現在の建物は平成7年（1995）に建て替えられましたが、当時と変わらぬ場所で、多くの区民の皆さんに利用されています。



目次

- Zoom Up 編さん過程のヒトコマ . . . P 2～3
- 区民インタビュー動画が公開されました、リーフレット発行予定、編集後記 . . . P 4

Zoom Up 編さん過程のヒトコマ

港区史編さん委員会を開催しました

◆令和元年度第1回港区史編さん委員会（令和元年8月26日開催）

編さん事業の進捗状況や、港区史の構成について報告をしました。また、刊本の材質を確認いただき、ジャケットデザイン案について議論しました。



◆令和元年度第2回港区史編さん委員会（令和2年1月24日開催）

一部の巻のスケジュール変更について承認され、通史編 原始・古代・中世、近世、自然編、図説 港区の歴史の刊行・WEB公開が、令和2年3月から、刊本は令和2年10月、WEB公開は令和2年12月に変更となりました。また、現在公開中の「みなと記憶の風景（ランドスケープ）」区民インタビューダイジェスト映像を流しました。

港区史刊行・WEB公開スケジュール変更のお知らせ

		平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
通史編 原始・古代・ 中世、近世 自然編 図説港区の歴史	変更後					令和2年10月刊行	
	変更前					刊行・WEB公開	令和2年12月WEB公開

その他、通史編近代は令和4年3月、現代及び資料編は令和5年3月の刊行・WEB公開を目指し、編さんを進めています。



監修者会議の様子

今年度の2回の会議では、港区の表記や人名・地名といった用語の統一、参考文献・引用文献の表記方法について、刊本への掲載に向けた時代間の調整を行いました。区民の皆さんが刊本を手にとってもらえるよう、より読みやすいものを目指して検討しました。

令和元年7月9日、12月12日開催



近代部会の様子

近代は、大政奉還後の明治維新から終戦まで、80年もの激動の港区の様子を扱うため、テーマが多岐に渡ります。そのため定期的に部会を開催し、各分野の専門の執筆者が執筆内容の調整を行っています。

9月18日、10月23日、11月12日、12月18日、令和2年1月9日開催



現代部会の様子

港区誕生以降の事項に関して、各テーマの構成や概要を確認しました。戦後の急成長から人口減への対策といった行政の流れや、まちづくり・労働・教育・文化などについて意見交換を行い、新たな区史として執筆の方針・方向性を検討しました。

令和元年9月20日・21日開催

港区役所ヒアリングの様子

▪ 保健所関係

昭和 50 年に地方自治法の改正に伴い、東京都から港区に保健所の事務事業が移管されました。移管された以降の組織の変遷や保健所の事業について、資料を確認しながらヒアリングを行いました。

令和元年 9 月 13 日 小島和貴 現代執筆者

▪ 町会関係

芝区・麻布区・赤坂区が統合され昭和 22 年 3 月に港区が誕生してから、町会・自治会の自主的活動と区の支援策等について、資料を確認しながらヒアリングを行いました。

令和元年 11 月 18 日 新垣二郎 現代執筆者

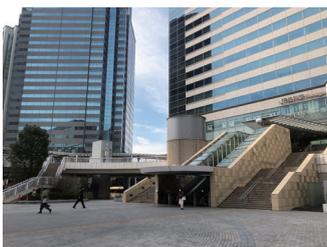
▪ 街づくり関係

区を取り巻く開発動向や高層化の進行などの環境変化に伴う用途地域の変更や日影規制などの手法、急激に変化する街とバブル期の人口減に対応した街づくり施策、汐留、台場、芝浦アイランド、品川駅東口などの個別街づくり地区について、国や東京都との関わり、住民との協働・企業との連携といった観点を含めて、話をうかがいました。

令和元年 11 月 15 日 三田妃路佳 現代執筆者



昭和 55 年頃の品川駅



現在の品川駅南口

品川駅地下通路見学の様子

現在は旅客用に使われていない品川駅南口～高輪口間の地下通路を、東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）の協力を得て見学し、利用当時から現在までの変遷を説明していただきました。今後の再開発事業（品川プロジェクト）やまちづくりに関して、東京都・港区が具体的にどのように関わっているのかを知ることができました。

令和元年 12 月 20 日 三田妃路佳 現代執筆者
協力：東日本旅客鉄道株式会社

増上寺資料調査の様子

増上寺に特別に許可をいただき、宗義の伝授などに用いられる重要な書物や、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の書状を始めとする中世後期の古文書など、たいへん貴重な資料を閲覧・撮影させていただきました。

令和元年 5 月 23、24 日 永村真 中世執筆者
協力：三縁山増上寺



増上寺調査の様子

港区役所資料調査の様子

学童疎開、建物疎開に関する資料調査を行いました。戦前・戦時中の大変珍しい、貴重な資料を確認することができました。昭和 19 年（1944）の「学童集団疎開」の資料群には、疎開児童の内訳や寄宿



港区役所地下の資料

先、予算などが詳細に記されており、自治体が疎開の実施にどのように関わったのかの一端をうかがうことができました。

令和元年 9 月 3 日 柄越祥子 近代執筆者
令和元年 10 月 16 日 都倉武之 近代監修・執筆者



品川駅地下通路の様子

■区民インタビュー動画を公開しました

平成31年4月から令和元年6月にかけて、11名の区民の皆さんにインタビューを行い、港区での思い出、現在・未来の港区への思いを語っていただきました。区とともに人生を歩んできた人々が見た、映像にも写真にも残されていない、「記憶の風景」に迫ります。



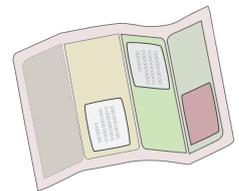
インタビュー動画は、下記「みなと記憶の風景～区民のインタビュー映像～」でご覧いただけます。

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305100/movie/index.html>



■リーフレット 令和2年3月に発行予定

上記でご紹介した区民インタビューの他、今年度刊行予定の港区史の一部や年表を掲載したリーフレットを令和2年3月に発行予定です。



■「デジタル版港区のあゆみ」で編さん過程を随時公開

デジタル版港区のあゆみは、港区の歴史と今と未来をつなげるデジタルアーカイブです。古文書など新たに区史を編さんするにあたって収集・整理した史資料をデジタル化し、キーワードによる閲覧・検索ができるかたちで随時公開しています。

港区行政年表が令和2年3月に公開されます

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305100/index.html>



■編集後記

2019年の春から実施してきた区民インタビュー企画について、ついに動画を公開しました。また、スケジュールを変更した新たな区史編さんの編集作業も追い込み時期を迎えています。令和2年3月には、区史やインタビューの一部を紹介するリーフレットも発行します。今後も様々な企画を通して皆さんに港区のあゆみに親しんでいただきたいと思いますので、どうぞご期待ください。